「採石法施行規則第11条の規定による報告書」記載要領

- 本記載要領及び記載例を参考に作成し、報告してください。
- 県から認可を受けている採取場ごとに報告書を作成してください。1採取場につき、1枚の報告書の作成が必要です。
- 県から発行された認可証や、県に提出した採取計画書を確認しながら、作成してください。

本報告の対象期間は、令和6年1月~12月(令和6年分)です。

本報告の**報告期限は、令和7年3月末日までです。**

実績がない場合でも提出が必要です。

なお、記載欄に記載しきれない場合は、適宜別紙を付してください。

複数の採取場がある場合は、**採取場ごとに報告書を作成**してください。

提出方法:電子メール

送付先アドレス: bzl-thk-saiseki11hokoku@meti.go.jp

※ bzlの「I」は小文字のエルです。saiseki11の「11」は数字です。

件名は「採石法施行規則第11条報告」等としてください。 また、当局からは受理した旨の返信は原則行いません。

メールの到達を確認したい場合は「開封確認を希望する」旨を本文等に記載ください。

問合せ先: 東北経済産業局 資源・燃料課(砂利採石担当)

電話(直通): 022-221-4934

3 **1)~17)**欄

報告の対象期間中(令和6年1月~12月)に変更認可や認可の更新を受けた場合、**最新の内容**を記載してください。

4)欄

1

2

4 法人であれば資本金を万円単位で、個人の場合は「個人」と記載してください。 地方公共団体等の場合「その他」と記載してください。

6)欄

5

「従業員数」には採取場における全体の従業員数、

- () 内には岩石の採取のための直接的な作業に従事する者の人数を記載してください(外部委託を含む)。
- ※ 複数の採取場を兼任している場合は、採取場ごとに按分するなどして記載してください。

10)欄

権利の種類は、採取場の土地の権利に係る項目です。

土地所有権 ・・・・ 採石業者が自ら所有する土地であるもの

6 採 石 権 … 採石法第4条に基づく権利(採石権設定の契約を行い、法務局に登記しているもの)

その他の権利 ・・・ 上記以外の賃貸借契約や土地使用の同意を得ているものなど

※ それぞれの面積の合計が、採取計画認可申請書の総面積となります。

17)欄

7 他の行政庁の許認可処分があった年月日、当該処分の有効期間、当該処分に係る土地の範囲等処分の概要を記載してく ださい。(森林法、公園法等で採石法以外のもの)

8 **19)**欄

対象期間の年間生産量(トン)の実績を記載してください。

20)欄

9 19)欄に記載した年間生産量の製品別の内訳を記載してください。

また、「埋立用岩石」及び「真砂土」を採取している場合は「石材」の「その他」欄に記載してください。

31)欄

10 報告書を作成した担当者名を記載してください。

報告書の内容確認のため、後日照会させていただくことがあります。

【重要】

この報告書は、県から認可された採取場ごとに作成してください。

1採取場につき、1枚です。

県から発行された認可証や、県に提出した採取計画書を確認しながら進めてください。

※報告対象期間内に生産実績がない(採取していない)場合は、枠外の空いている部分にその旨を記載してください。

都道府県に登録している事業者住所

都道府県に登録している事業者名

採石業者が自社の所有する土地で採掘している場合

採石法第4条に基づく 「採石権」を設定して採掘している場

借地契約、土地使用(岩石採取)同意 書等を取り交わして採掘している場合

			採 石	法 施	5 行 規	見 則 第	+ -	条の	規定	こにょ	る報台	告 書			
												所管経済	産業局		
1) 採石業者の氏名又は 名称	〇〇産業 (株) (代表者名) 代表取締役 〇〇 〇〇				2) 採石業 び電話者	者の住所及 番号	〒123-4567 ▲▲県〇〇市□□町1-18 (000)-(000)-(000)					3) 登録番· 年月日	号及び登録	第号	
4) 採石業者が法人の場 合にはその資本金額	(万円)					の名称、所 び電話番号	Ŧ /)	6) 業務管: 及び従:	理者の氏名 業員数	OO OO 8人(5人)	
7) 岩石採取場の名称及 び所在地	○○採取場 〒123-4567 ▲▲県○○市□□町2-20				8) 採取する 称	る岩石の名	玄武岩、安山岩 (通称名:))	9) 採取計画の認可年 一月日			
権区分	11)権利を取得した 月日	た年 12		間	13) 採石料 対価			「る土地の 単位:㎡)		所及で 名称				採取に関し他の行政庁の 分が必要な場合にはその 内容	
利の 土 地 所 有 権 採 石 権	年月日 年月日 年月日		10年 20年		50円/t 60円/年		1, 500 ㎡ 9, 000 ㎡ m							令和5年4月26日林地開発行為許可 〇〇年〇〇月〇〇日まで	
知 その他の権利 項 目 採取した 岩石の名称	19) 年間生産量 (単位・	各用口	20) 年 砕 1ンクリ 鉄道	間	生 石 砂	産量である。		製品	別 石 5 間知石	内 訳及 割ぐり	【 (単位: 材 「石 そ の fl		工業用原料	21) 廃土及び廃石の量 (単位:トン)	
安山岩	598, 579t 270, 5, 000t		- ト用 用 234, 552t !	9, 396t +	t	84, 064t	598, 579 ⁻ 5, 000 ⁻		び割石 t +	t	t	t 1	t t		
計 22) 岩石の採取の方法	603, 579t 270, 23) 採 掘	•	234, 552t	9, 396t	t	-,	603, 579		t	t	t	t i	t t	2, 480t	
及び設備等の状況	25) 保 掘 24) 採 掘 手 25) 使 用 火 身 26) 破 砕 選 別 27) 運 搬 機	段類)	表に記載										
28)廃土又は廃石のたい 積の方法等 29)災害防止の方法及び 施設															
30) 災害発生の有無、災害の態様及びこれに対して講じた措置等															
31)この報告書は、真実 (報告年月日)	に相違ありません。 令和7年3月3日	. \									(報告者	の氏名)_	経済っ	太郎	

該当があれば以下項目を記載 ①発生年月日、②発生場所、③災害の概要(被害状況含む)、 ④災害に対して講じた措置を記入

採石法第2条に定める岩石の名称を記入 通称名がある場合は()書き

従業員:採取場における全体の従業員数 (人):直接、岩石採取作業に 従事する者の人数

単位は 円/t、円/年など

①「埋立用岩石」

②「風化花崗岩」(真砂土)は「石材」の「その他」に記入

雷管は計上しない 含水爆薬は「その他」に計上 1日あたりの平均的な水量

採石法施行規則第11条の規定による報告書の附表 【記載例】 所管経済産業局 東北経済産業局 採石業者の名称・ 本表に同じ 生産量の多い主な区分1つを選択 住所·電話番号 (5)使用火薬類 使用量/kg/年 (9) 災害防止の施設どちらかにチェック(レ点)を入れてください。 事務所の名称本表に同じ ____kg/年 1 崩落土石の流出・・・ 転落石防止施設 ☑ あり ✓ □ なし √ 1 アンホ 2000 kg/年 kg/年 所在地·電話番号 2 ダイナマイト 防止のための 爆 薬 生産量の多い主な区分1つに □/bb ☑ Xi 3 カーリット 2 発破飛石防止の・・・ 防護網柵 (1)用途別の区分 チェック(レ点)を入れてください。 4 その他 / kg/年 ための □ なし 1 砕骨材 1 3 粉じん飛散防止・・・ 噴霧散水施設 🕗 🔊 5 黒色火薬 kg/年 2 石材 火 薬 のための ■ ☑ あり 目 なし 3 工業用原料 採掘場 4 場内水の汚濁防・・・ 排水路 (6) 破砕・選別 該当するものにチェック(レ点)を入れてください。 止のための 破砕・選別の 1 選別しない 5 場内汚水(坑廃・・・ 汚水処理施設 □ あり ☑ なし (2)採石方法 どちらかにチェック(レ点)を入れてください。 1 傾斜面採掘法 ■ あり ☑ なし 方法 2 手選 水)による汚濁 2 階段採掘法 ☑ あり □ なし 3 機械破砕選別 防止のための 露天採掘 3 グローリーホール法 6 場外水の汚濁防・・・ 沢水排水路 ☑ あり □ なし/ □ あり ✓ なし ■ あり ☑ なし (機械破砕選別の場合のみ記入) 止のための ・・・ 山腹水路 □ an ☑ tal 4 その他 ・機械破砕選別における主要設備 ____ なし ■ あり ☑ なし 5 中段採掘法 (※水洗式破砕選別施設について、 7 粉じん飛散・騒・・・ 噴霧散水施設 ☑ ぁ が 6 柱房式採掘法 どちらかにチェック (レ点)を入れてく<u>ださい。)</u> 音防止のための・・・ 集じん施設 ▲ abb ☑ til 坑内採掘 7 残柱式採掘法 ■ あり ② なし ☑ あり 総使用水量 … 建屋 _ ☑ あり □ が 破砕選別場 ■ あり ☑ なし 8 水洗汚水による 繁忙期での使用実績を記載 8 その他 □ なし 汚濁防止のため・・・ 汚水処理施設 🔲 あり 🗵 なし 台数 1 破砕機 その他 9 露天及び坑内の 台 の 各採掘法の併用 □ あり ☑ なし 2 磨砕機 台 破砕・選別 3 篩分機 台 、9 たい積物の流出・・・ 土留施設(木 □ ぁゥ ☑ なし (3) 採掘手段 □ 手掘 ☑ 機械掘 防止のための 4 機械分級機 柵を除く) 台 廃土石 5 湿式サイクロン 10 場外水の汚濁防・・・ 沢水排水路 (4) 機械掘における主要設備 止のための ・・・ 山腹排水路 □ あり ☑ なし 台数 (7) 運搬機械の主要設備 1 パワーショベル 2 台 台数 2 ドーザーショベル (10) 災害発生状況 表土除去・ 1 台 1 ドーザーショベル・パワーショベル 発生件数 積込関係 採掘関係 3 ホイールショベル 1 土地の崩壊・流出(転落石を含む) 1 台 2 ホイールショベル 2 台 4 ブルドーザー 台 2 土地の陥没・亀裂 3 8トン車以下 3 発破飛石 5 クローラドリル 台 4 9~10トン車 4 発破粉じん 2 台 ダンプトラック 5 11~15トン車 6 ジャックハンマー 1 台 台 5 場内外の汚濁水 さく孔関係 7 ハンドハンマー 台 6 16~20トン車 台 8 ストーパー 台 7 21トン車以上 6 粉じん 破砕選別場 7 騒音 9 コンプレッサー 台 (8) 廃土又は廃石のたい積場 8 水洗汚濁水 場数 台 1 水平層状たい積法 10 ドロップボール 1箇所 小割関係 11 ブレイカー 1 台 たい積の方法 2 まき出したい積法 (9 たい積物の崩壊・流出 簡所 廃土石の 12 小割発破 ■ あり ☑ なし 3 投下たい積法 箇所 たい積場 10 場内外汚濁水 ※小割発破について、どちらかにチェック(レ点)を入れてください。

採掘切羽、運搬道路等で散水を実施している場合

場内に振った雨水等を誘導するための排水路 (排水溝、側溝、配水管)

雨天時等に発生する汚濁水を処理 するための沈でん池、沈砂池

クラッシャー、スクリーン等が建 物内に設置されている場合

水洗行程で発生した汚濁水を処理 するための施設 (シックナー、沈でん池、フィル タープレス)